

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	29年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 総合開発課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	ガーデンふ頭再開発の推進	継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7971
目的	対象(誰・何を)	ガーデンふ頭			事業 期間	平成22~30年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	多くの人が賑わう場として充実させます。				
概要	再開発の実現性や民間事業者の進出意欲を高めるため、平成29年度秋頃を目途に「ガーデンふ頭再開発基本計画」を策定し、その後、事業化に向けた検討を進め、ガーデンふ頭全体の再開発を推進します。				根拠 法令等	
30年度の実施予定	民間事業者への意見聴取や有識者からの助言も得ながら、開発条件の整理、基盤施設の計画、制限の緩和の検討を行うとともに、ガーデンふ頭に携わる関係者との調整を進めていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

30年度に実施した 内容・結果	臨海部や都市部における再開発の経験や知見を持った有識者4名で構成するアドバイザーチームを設置し、各アドバイザーから3回助言を得ました。また、それを踏まえて、開発条件の整理、基盤施設の計画、制限の緩和について、国や港湾関係者と調整を進めてきました。 なお、マーケットサウンディングの参加事業者には意見聴取を行い、引き続き再開発事業への参画意欲があることなどを確認しました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	合計(22年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,202	9,850	24,732	37,225	再開発の実現に向けた検討業務委託費が増加しました。
人件費	千円	29,206	34,463	34,571	168,945	
合計	千円	38,408	44,313	59,303	191,180	

3 CHECK(検証)

指標名	28年度	29年度	30年度	最終目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
ガーデンふ頭におけるにぎわいの創出に向けた検討の進捗状況(全5工程) (進行管理型)	目標	3	4	5	5(累計)	以下の項目のうち完了した工程数を合計します。 ①課題の整理②基本方針の設定③機能配置計画の取りまとめ④行動計画の取りまとめ⑤事業化の検討	
	実績	3	4	4			
	事業進捗状況(30年度)		○順調		やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	予定通り、民間事業者への意見聴取や有識者からの助言も得ながら、開発条件の整理、基盤施設の計画、制限の緩和について関係者と調整を進めました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	ガーデンふ頭は親しまれる港づくりの拠点としてにぎわいの創出を図る必要があり、ガーデンふ頭再開発は、県民・市民からのニーズも高く、実施していく必要があります。					
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	ガーデンふ頭を再開発することによって、魅力ある港湾空間を形成することができると考えています。					
効率性 最小のコストとなっているか?	○	最小のコストで事務を行いました。					

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	重点施策として位置付け継続
順調	ガーデンふ頭再開発にあたっては、ふ頭全体の再開発の検討を進めるなかで、既存施設の利活用や官民の役割分担等について民間事業者への意見聴取や国や港湾関係者等との合意形成を図る必要があります。	ガーデンふ頭再開発においては、既存施設の利活用や官民の役割分担などの再開発の基本的な内容の具体化に取り組み、更なるにぎわいの創出に向けて重点的に取り組んでいきます。	